

# The best relationship

第一学年通信 No53

～最高の仲間たち～



2017,10,16.

## 【キャリア学習 4】職業調べ みんなの作品 No 3

☆ 単調にならないように、色やレイアウトを考えてまとめたもの①

**☆ 仕事内容**

☆ 空間そのものをデザインする仕事  
住宅や店舗、ホテルなどあらゆる居住空間にある様々なインテリア用品を選び、空間を総合的にデザインする仕事です。

☆ 主なインテリア用品  
家具、床材、照明器具、壁材、カーテン

☆ 様々なものをデザイン  
インテリア用品自体のデザインも、インテリアデザイナーの仕事です。

**インテリアデザイナーの仕事**

☆ 求められる役割・資質

- ☆ 色彩学  
色ごとに与える印象について
- ☆ 造形デザイン  
空間の演出について
- ☆ 美術・建築
- ☆ 工芸
- ☆ 社会的  
など幅広い知識
- ☆ コミュニケーション能力

**調べ終えて**

今まで知らなかった分野なので、今回詳しく調べて、とても興味を持った。他の職業についても、知らないものが多いので、また調べてみたいと思う。

**高校**

建築、美術系の専門学校、大学、短大

デザイン事務所、住宅、家具メーカーなど

独立してプロジェクトごとに活躍

・学生時代からのアルバイトの延長でインテリアデザイナーになった人も！

・実務経験が最も重要

・「いい地よい空間」をコーディネート

**なるためには**

あると便利な資格

建築士  
インテリアコーディネーター  
カラーコーディネーター

## 兵庫県<sup>たじま</sup>の但馬地方を知ろう No 2

### 歴史

古代の但馬は、「天日槍」の渡来伝説との関係が深く、日本の文化経済の表玄関であったと言われています。奈良時代には、但馬国の中心地、但馬国府が日高町に置かれたほか、江戸時代には、出石・豊岡・村岡に藩が、生野銀山には代官所が置かれました。さらに竹野、香住などが「北前船」の寄港地として栄えました。

#### \* 天日槍（あめのひぼこ）の渡来伝説 \*

昔むかし、新羅の国(しらぎのくに・朝鮮半島南東部)に、天日槍という王子がいました。王子には美しい妻がいましたが、ちょっとした事から、妻をののしるようになりました。これに耐えられなくなった妻は、一人こっそり船に乗り、日本の灘波(なにわ・大阪)に帰りました。これを知った日槍は、自分も妻を追って日本へと渡ったのですが、灘波に近づくとその土地の神々が邪魔をして、どうしても上陸できません。そこで仕方なく、日槍は但馬の国に船をつけると、そこに落ち着くことになりました。ところがその当時の豊岡や出石盆地のあたりは、一面が泥の海だったので、とても生活しにくい土地でした。そこで日槍は五社大明神(ごしゃだいみょうじん)の神々と力を合わせて、この地を開拓しました。こうして開拓は成功し、立派な土地になったのです。その後、日槍は出石神社に祭られて、『開発の神』として多くの人々の信仰を集めています。



#### \* 北前（きたまえ）船 \*

江戸中期から明治末期にかけて、大阪から瀬戸内海を経て、日本海から北海道まで、往復した商船を上方では「北前船」と呼んでいました。港に寄っては、米や塩、油、鉄などその土地の産物を買集め次の港で売っていました。但馬海岸の港は、それらの船にとって嵐の時の避難、風のない時の風待ちなどのための大事な寄港地となりました。

その船数は、記録によると170あり、中でも竹野村(竹野町)が56と最も多かったと記されています。

